

2017年9月4日
イオン株式会社

象牙製品の取り扱い方針について

2020年3月末までに取り扱いを中止します

イオンは、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」において国際取引が禁止されている象牙を使用した商品について、2020年3月末までに一切の取り扱いを中止する方針を決定しました。

2016年のワシントン条約締約国会議において、各国に対し、アフリカゾウの密猟や違法取引の一因となるような象牙市場がある場合、その市場を閉鎖するよう求めることが決議されるなど、象牙製品の取り扱いに対する国際的な関心が高まっています。

日本国内における象牙は、「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律（種の保存法）」に基づき、国による管理制度の下で取引がなされているものですが、イオンでは、生態系保全の観点から、2015年6月よりすでに直営売場において象牙製品を取り扱わない方針とし、取り扱いを中止しています。また、当社グループの商業施設内において主に印章を扱うテナント各社さま等に対しても、当社方針についてご説明を行ってまいりました。テナント各社さまには本件主旨に対してご理解、真摯なご協力をいただき、現在、2020年3月末に向け、順次環境に配慮した代替素材への積極的な切り換えを進めるなどの検討、対応を進めていただいています。

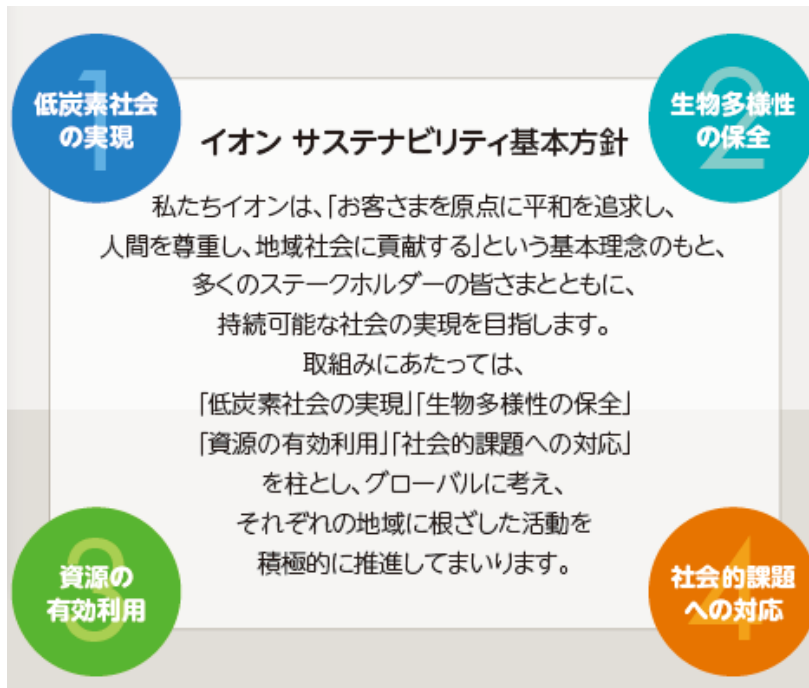
イオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、企業成長と社会の発展を両立させる「サステナブル経営」を実現するため、2011年に“低炭素社会の実現”、“生物多様性の保全”、“資源の有効活用”、“社会的課題への対応”の4つを柱とする「イオン サステナビリティ基本方針」を制定。2014年には「サステナブル経営」をさらに前進させるべく「ビッグチャレンジ2020」を掲げ、事業活動とCSR活動が一体となった経営に取り組んでいます。

また、商品に関しては、本年4月に「イオン持続可能な調達方針」に基づく「イオン持続可能な2020年目標」を策定し、農・水・畜産物、紙・パルプ・木材、パーム油について、自然・生態系・社会と調和がとれ、持続可能で国際的な基準に則った調達を行うことを表明しました。

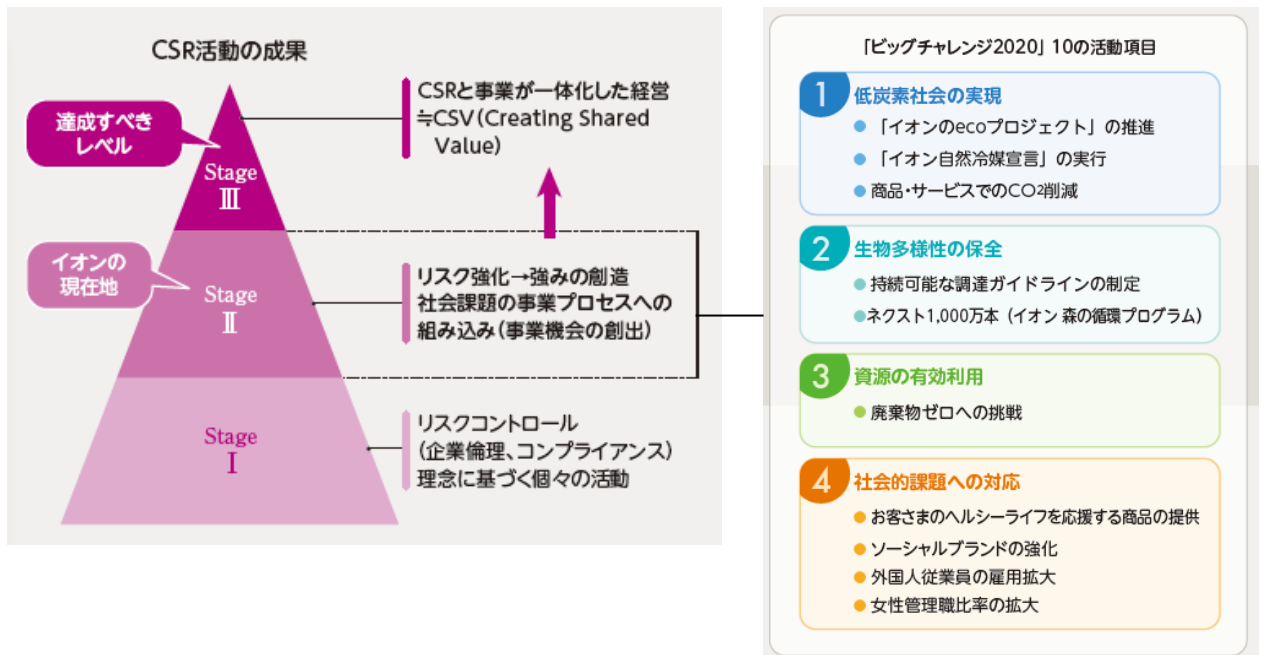
イオンは、生態系の保全につながるこのたびの象牙製品の取り扱い中止や、持続可能な調達を目指す「イオン持続可能な2020年目標」の実行等さまざまな取り組みにより、事業活動を通じた社会課題の解決に貢献してまいります。

ご参考

【イオン サステナビリティ基本方針】（2011年策定）



【ビッグチャレンジ2020】（2014年策定）



【イオン持続可能な調達方針・2020年目標】（2017年策定）

対象	イオン持続可能な調達方針	持続可能な調達2020年目標
農産物	自然・生態系・社会と調和のとれた持続可能な農産物の調達に努めます。自らも野菜を栽培することで安全でおいしい野菜を提供し、安心してらせる食の未来の創造に貢献します。	・プライベートブランドは、GFSI※1ベースの適正農業規範(GAP)管理の100%実施をめざす ・オーガニック農産物売上構成比5%をめざす
畜産物	自然・生態系・社会と調和のとれた持続可能な畜産物の調達に努めます。自らも牛肉を生産することで安全でおいしい牛肉を提供し、安心してらせる食の未来の創造に貢献します。	・プライベートブランドは、GFSIベースの食品安全マネジメントシステム(FSMS)または、適正農業規範(GAP)による管理の100%実施をめざす
水産物	資源の枯渇防止と生物多様性保全の観点から、定期的にはリスク評価を行います。また、リスク低減のために、実行可能な対策を検討し、持続可能な水産物の調達に努めます。(*1)	・イオン(株)連結対象の総合スーパー、スーパーマーケット企業で、MSC※2、ASC※3の流通・加工認証(CoC)の100%取得をめざす ・主要な全魚種で、持続可能な裏付けのあるプライベートブランドを提供する
紙・パルプ・木材	適切に管理された森から生産された木材やパルプを商品の原材料や店舗の資材に活用し、森林破壊の防止に努めます。(*2)	・主要なカテゴリーのプライベートブランドについて、持続可能な認証(FSC®※4認証等)原料の100%利用をめざす
パーム油	商品の原材料として使われるパーム油について、森林破壊の防止及び生物多様性に配慮した調達に努めます。	・プライベートブランドは、持続可能な認証(RSPO※5等)原料の100%利用をめざす

(*1) 水産物に関する調達方針は、2014年に「イオン水産物調達方針」として先行して定めたものです。

(*2) 紙・パルプ・木材に関する調達方針は、2016年に「イオン森林資源調達方針」として先行して定めたものです。

※1 GFSI (Global Food Safety Initiative) : 世界食品安全イニシアチブ
グローバルに展開する小売業、食品メーカーで構成するTCGF (The Consumer Goods Forum) 傘下の食品安全の推進団体。食品安全規格の認定も実施

※2 MSC (Marine Stewardship Council) : 海洋管理協議会
持続可能で社会的に責任ある方法で漁獲された天然水産物の認証制度を運営

※3 ASC (Aquaculture Stewardship Council) : 水産養殖管理協議会
環境や社会に配慮した養殖場で生産された水産物の認証制度を運営

※4 FSC® (Forest Stewardship Council) : 森林管理協議会
管理や伐採が、環境や地域社会に配慮して行なわれている森林の認証制度を運営

※5 RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil) : 持続可能なパーム油のための円卓会議
世界的に信頼される認証基準の策定とステークホルダー(関係者)の参加を通じ、持続可能なパーム油の生産と利用を促進